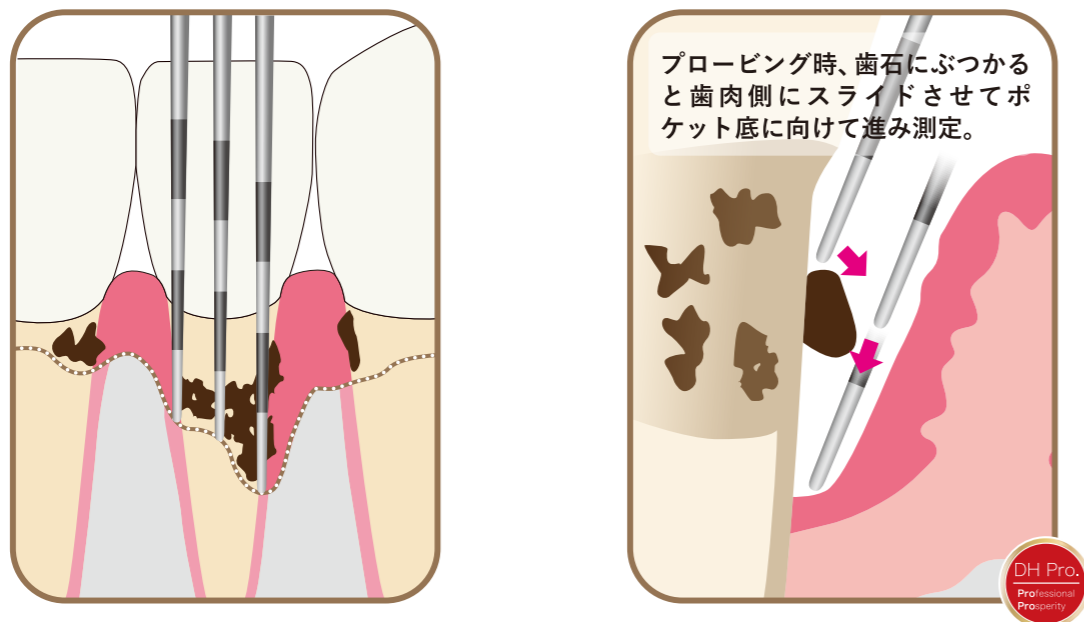


## プロービング 患者に痛みを与えないためのコツ

- ・プローブの正しい持ち方
- ・プロービング圧
- ・より正しい数値（プロービングエラーを避けるために…）
- ・プロービングの前準備（資料、レントゲンの読影）

歯肉の色の違い濃淡、混濁感、浮腫性なのか？繊維性なのか？  
基本的な歯牙解剖学的形態を把握した上で3次元的なイメージを持つ。



プロービングは簡単のようで実は難しい。高いハードルの一つ。それはなぜか…。実際に直接みることができない暗視下だから！感覚が何よりも頼りになってくる。

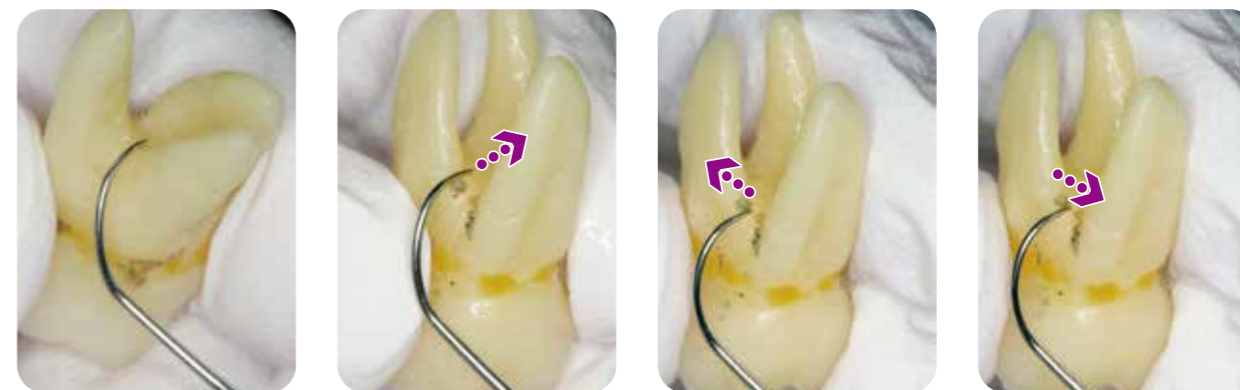


## 探知にもこだわってみよう

縁下歯石なのか？充填物や補綴物とのステップなのか？  
カリエスにより歯が軟化しているため凹みに入る引っかかりなのか？



### 根分岐部の探知



エクスプローラーを把持し、指先に神経を集中して、根形態に沿わせて挿入。細い先端から伝わる感触を記憶してインストルメントを操作します。

スケーリング・ルートプレーニングの前に大事なことはなにか…。それは、どこにどれだけの厚み、幅、量の歯石が沈着しているか？そしてSRPが進むにつれ少しずつ除去された実感できるのか？それとも、何度もアクセスしているけどいっこうに除去されていない…と感じるか。要するに一番大切なことはこの探知“感覚”